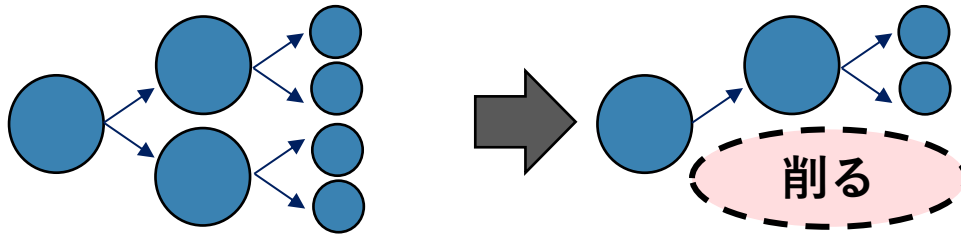


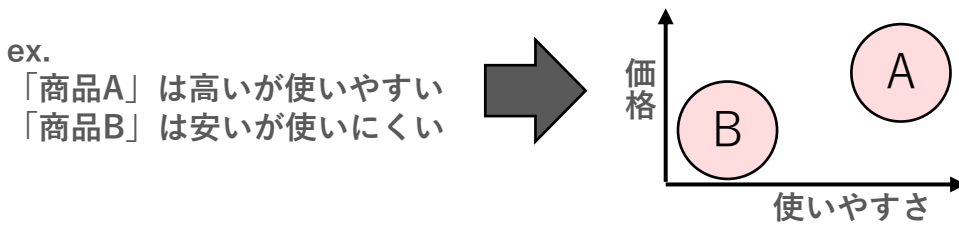
図1.問題特定の5つのアプローチ

<問題を特定するときに使えるアプローチ>

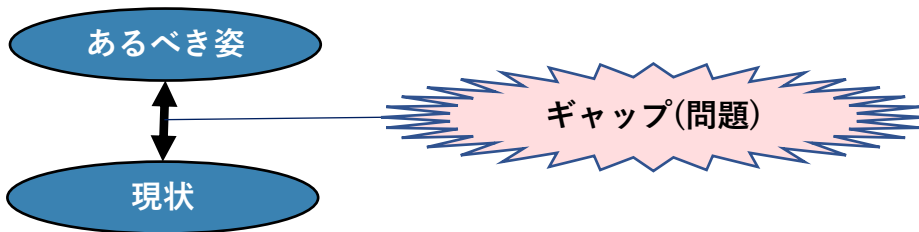
1.変動要素を削る



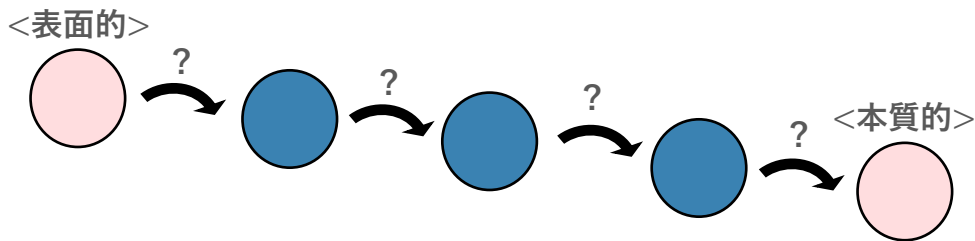
2.視覚化する



3.最終系(あるべき姿)から逆算する



4.「なぜ？」を繰り返す



5.極端な事例を考える

